

令和4年8月31日(水)号

ネクスト通信

北はりま特別支援学校

進路合同面接会に行ってきました。



8月18日、近隣の特別支援学校の「進路合同面接会」に参加いたしました。夏休みにもかかわらず熱心な生徒さんや保護者の方が、様々な事業所のブースで真剣に話を聞いていらっしゃいました。「ネクスト・econte」のブースには生徒さんや保護者の方だけでなく、先生方もお見えになり「A型事業所・B型事業所」の詳細についてメモを取りながら話を聞いてくださいました。事業所のことを知っていただく貴重な機会を設定していただきましたことに、心より感謝いたします。

アルミ缶の寄贈

そして面接会の途中には、以前お世話になっていました作業班担当の先生にもお声がけいただきました。その先生から、「しばらく実施できていなかったアルミ缶作業を再開することになったので、もし可能なら以前のようにアルミ缶を提供いただけませんか。」とご依頼いただきました。

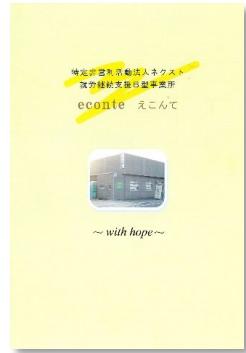


支援学校ではつぶれていないアルミ缶を収集し、作業学習の中でアルミ缶をつぶし、回収業者に引き渡すことでの代金で、作業学習に使用する道具・工具を購入していくこと、それらのアルミ缶収集に保護者や近隣の方だけでなく「ネクス



ト・えこんて」などの事業所にも協力いただいていることを生徒のみなさんにお話しすると、生徒から「ぜひこの事業所の見学に行きたい」という声が上がったそうです。そして今秋にも生徒のみなさんが「B型事業所えこんて」の見学にお見えになるという運びになりました。

資源ごみ提供活動は支援学校への協力という「地域福祉」と、リサイクルという「環境保全」を主目的とした活動でしたが、その真意は支援学校と事業所の間の垣根を取り払い、「お互いに顔の見える交流をしたい」という願いであり始めた活動でした。コロナ禍の中、細々と提供活動だけは継続していましたが、交流がかなわない時期が長く続きました。その活動が、「事業所見学」という交流に結び付いたことをとても嬉しく思います。実際に「ネクスト・econte」には、当時アルミ缶を受け取ってくださった生徒さんが、現在は利用者として在籍し活躍されています。この資源ごみ提供活動で実を結んだ交流が「支援学校→福祉的就労→一般就労」への道へと続いていくことを祈っています。



A型ネクストとB型econteの新しいパンフレットを作りました